

県西庁舎駐車場に「エコ外灯」を設置
 モリ・ココと点灯式
 風力と太陽光を利用して発電する「エコ外灯」(高さ約六メートル)二基が、県庁西庁舎(名古屋市中区)駐車場に設置され、十八日、点灯式があった。

みイメージした風力発電機(出力十五ワット)があり、その下部に太陽電池(同百六十七ワット)を据えた。発電した電気は蓄電池に送られ、日没後から四時間程度ともるといふ。県は七百万八千円を投じた。

「万博の理念を継承し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)の排出を抑える広告塔の一つにしたい」と話す。点灯式には稲垣隆司副知事や、渡会克明県議会議長ら関係者が出席。万博のマスコミキャラクター「モリゾー」「キッコロ」も駆けつけた。

モリゾー・キッコロ(奥)も駆けつけ、県庁西庁舎の駐車場で行われた点灯式

